

高等学校 令和7年度 教科				国語		科目		文学国語	
教 科：	国語	科 目：	文学国語	単位数：	2	単位			
対象学年組：第	2 学年	1 組～	7 組						
教科担当者：	(1組： 合谷)	(2組： 合谷)	(3組： 合谷)	(4組： 合谷)	(5組： 合谷)	(6組： 合谷)	(7組： 合谷)		
使用教科書：	(「文学国語」東京書籍(文国701))								
教科	国語		の目標：						
【知 識 及 び 技 能】			生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。						
【思考力、判断力、表現力等】			深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。						
【学びに向かう力、人間性等】			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
科目	文学国語		の目標：						
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】			
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			国 語	書	読					
1 学 期	A 単元 随筆「雨月物語」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。 1 「物語」に対する筆者の考えに注目して、本文を通読する。 2 筆者が「子供向けに書かれた本」をどのように感じていたかを読み取る。 3 『雨月物語』や『怪談』がどのような作品か確認し、筆者が『雨月物語』や『怪談』を好んで読んでいた理由を考える。 4 筆者が『雨月物語』の「浅茅が宿」からどのようなことを考え、何を感じたかを読み取る。 5 筆者がどのようなことを「これ以上ない希望だった。」と述べているか、読み取る。 6 「物語」に対する筆者の考え方の変化を整理する。 7 「物語」に対する自分の考えをまとめる。 ・一人1台端末の活用			○ ○	【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主】進んで『雨月物語』が筆者に与えた影響を読み取り、今までの学習を生かして「物語」についての自分の考えをまとめようとしている。		○ ○ ○		5
	B 単元 小説「窓」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。 1 「短編小説」の語る内容と「僕」との関係に注目しながら、本文を通読する。 2 「短編小説」が言った「小説ってのは小さな『窓』なんだですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。 3 それを聞いた「僕」は何を考えたかを読み取る。 4 「ね、人は誰でも、ページ数を知りようのない、一編の小説なんですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。 5 窓から外の風景を見ている「僕」の心情を読み取る。 ・一人1台端末の活用			○ ○	【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主】粘り強く「短編小説」が象徴するものを理解し、学習課題に沿って自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書こうとしている。		○ ○ ○		5
	定期考査							○ ○		
2 学 期	C 単元 小説「山月記」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 1 作者について予備知識を持ったうえで、現代社会の、あるいは自分が置かれた状況と同じ点、違う点について考える。 2 あらかじめ調べてきた語句の意味を確認し、漢文調を生かした語句の意味を明らかにする。 3 「語り」の変化を手がかりに、本文をいくつかの場面に分け、それぞれの要点をまとめる。 4 第一回に描かれた幸徳の性格について発表する。 5 幸徳がどのような経緯をたどって虎になったかをまとめる。 6 虎となった幸徳の心情を考える。 7 幸徳の心情、生き方を探る。 8 幸徳は自らの詩をどのような理由から哀慟に伝え、哀慟はその作品をどのように感じたと、考える。 ・一人1台端末の活用			○ ○ ○	【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主】粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合うとしている。		○ ○ ○		12

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話	聞	書	読						
1 学 期	A「『リスク』と『リスク社会』」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的,批判的に考える力を伸ばすとともに,創造的に考える力を養い,他者との関わりの中で伝え合う力を高め,自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに,生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ,我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち,言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	対比に注意して論の展開をつかみ,「リスク」という概念について理解を深める。		○	○	○	【知識及び技能】 言葉には,言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現等】 「読むこと」において,文章の種類を踏まえて,内容や構成,論理の展開などを的確に捉え,論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的にベックとルーマンの各記述から中心的主張を捉えて要約し,学習課題に沿って現代における「リスク」について具体的に考え,話し合おうとしている。		○	○	○	8
	定期考査							○	○		1	
	B「相互依存の自己規定」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的,批判的に考える力を伸ばすとともに,創造的に考える力を養い,他者との関わりの中で伝え合う力を高め,自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに,生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ,我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち,言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み,言語と自我の構造について考える。		○	○	○	【知識及び技能】 言葉には,言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現等】 「読むこと」において,文章の種類を踏まえて,内容や構成,論理の展開などを的確に捉え,論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し,学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ,他者に伝えようとしている。		○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
2 学 期	C「ミロのヴィーナス」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的,批判的に考える力を伸ばすとともに,創造的に考える力を養い,他者との関わりの中で伝え合う力を高め,自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに,生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ,我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち,言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・具体例に注目して筆者の主張を理解し,芸術の見方について考える。 ・書かれている内容を理解し,論理的に考えることの意義を知る。		○	○	○	【知識及び技能】 言葉には,言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現等】 「読むこと」において,文章の種類を踏まえて,内容や構成,論理の展開などを的確に捉え,論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで芸術における具体と抽象の関係性や,筆者の論の進め方を捉え,学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる,芸術に対する見方を深めようとしている。		○	○	○	12
	定期考査								○	○		1
	D「分人とは何か」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】	提示された問いに注意して筆者の主張を理解し,自分に引き寄せて考える。					【知識及び技能】 言葉には,言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現等】					

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科 国語 科目 古典探究

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】						
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 古文 十訓抄 大江山の歌 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を現代語訳する。 3 「大江山」の歌の修辭や詠まれの背景を理解する。 4 文語動詞の活用を復習する。				○				8
	定期考査									1
	B 古文 徒然草 花は盛りに 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら、本文を現代語訳する。 3 筆者の美意識を理解する。 4 文語の形容詞・形容動詞の活用について理解する。				○				8
C 漢文 故事と小話 断腸 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 3 粗公が「猿ノ子」を得た者を罷免した理由を考える。 4 「断腸」という故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。				○				7	
定期考査										1

D	古文 土佐日記 馬のはなむけ 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などに通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 当時の月日や時刻の呼び方について知る。 2 この章段に書かれている旅立ちの事情を読み取る。 3 麗化表現、機知を感じさせる表現を指摘し、この作品の特色を表現する。 4 冒頭の一文から、作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。			【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語感を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成り立ちの順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むときを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、学習課題に沿って作者の心情を読み取ろうとしている。	○				8	
E	漢文 唐詩と文 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などに通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 それぞれの作者について理解する。 2 詩を声に出して読む。 3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 唐詩の詩形、押韻、対句の表現について考える。 5 正確な現代語訳をする。 6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し、暗唱する。 7 訳詩を試みる。			【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語感を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むときを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。	○				8	
	定期考査							○	○		1
F	漢文 史記 四面楚歌 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などに通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を繰り返し音読し、書き下し文にする。 2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。 3 文脈に即して、内容や登場人物について理解する。			【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語感を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちに与えた影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。		○	○			11
	定期考査								○	○	1
G	古文 平家物語 壇の浦の合戦 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などに通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 平家物語について、文学史的知識や文体的特徴についてを理解する。 2 本文を正しく音読する。 3 脚注を参考にしながら、本文を現代語訳する。 4 本文に即して登場人物の言動や、心情を理解する。			【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語感を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちに与えた影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。		○	○			15
	定期考査								○	○	1
	定期考査								○	○	合計
											合計

高等学校 令和7年度 教科		地理歴史	科目	歴史総合
教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数：2 単位
対象学年組	第 1 学年	1 組～	7 組	
教科担当者	(3 組・5 組・7 組；河端)	(2 組・4 組・6 組；小黑)	(1 組；山下)	
使用教科書	(第一学習社『高等学校 歴史総合』 副教材『明解歴史総合図説シンフォニア』 ワークシ)			
教科	地理歴史	の目標：		
【知識及び技能】		歴史的な転換点の因果について理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。		
【思考力、判断力、表現力等】		歴史的事象の意義、及びその特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりしている。		
【学びに向かう力、人間性等】		現代の諸課題について、歴史的事象を踏まえ、より良い社会の実現を視野に主体的に解決しようとしている。		
科目	歴史総合	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の持つ重要な要素としての「大衆化社会」、「グローバル化社会」が、さまざまな国際秩序の変化に基づいて生じていることについて理解しているとともに、諸史料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けている。	歴史的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を、地形的関係、社会体制、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ活用し、多角的、多面的に考察したり、現代の諸課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	歴史的な事象を踏まえ、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、及び世界と結びつく国際人としての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	・指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命の影響と国民意識の芽生え ③産業革命で変わる社会 ④イギリスの繁栄と国際分業体制 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	欧米諸国における近代化 【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	5
	近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第二次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	近代化の進展と国民国家形成 【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ④黒船の来航と日本の対応 ⑤新体制の模索と江戸幕府の滅亡 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・指導事項 ①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と芯の近代化と日清戦争 ④列強の中国進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・指導事項 ①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	第一次世界大戦と日本の対応 【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
	国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 定期考査	・指導事項 ①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東・インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	国際協調と大衆社会の広がり 【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 定期考査	・指導事項 ①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治の断絶と満州事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	日本の行方と第二次世界大戦 【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	グローバル化と私たち 【知識及び技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 定期考査	・指導事項 ①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							66

高等学校 令和7年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単 位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1組：山本・石井）（2組：山本・石井）（3組：石井・春田）（4組：山田・岸川）（5組：山田・岸川）（6組7組文系：春田・山本）（6組7組理系：岸川・山田）

使用教科書： （新編 数学Ⅱ（数研出版））

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を育てる。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
既習の整数の除法や分数の計算と関連づけて、多項式の除法や分数式の計算の方法を考える活動を導入し、計算の方法について理解を深めさせる。座標を設定して円や直線を方程式で表現することができるようにする。	二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、問題を解決できるようにする。三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができるようにする。	問題解決に向けて粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	3章 三角関数 【知識及び技能】 弧度法による角度の表し方について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1 節 三角関数 2 節 加法定理 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 三角関数の加法定理や2倍角の公式を適切に活用することができる。 【思考・判断・表現】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	1章 方程式・式と証明 【知識及び技能】 簡単な高次方程式について因数定理を用いてその解を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1 節 多項式・分数式の計算 2 節 2次方程式 3 節 高次方程式 4 節 式と証明 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 様々な定理や公式を有効に用いて、正しく計算することができる。 【思考・判断・表現】 日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2章 図形と方程式 【知識及び技能】 直線や円を方程式で表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形を、方程式で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1 節 点と直線 2 節 円 3 節 軌跡と領域 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	4章 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連づけて考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1 節 指数関数 2 節 対数関数 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 指数や対数の方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 指数と対数を相互に関連づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学 期	5章 微分と積分 【知識及び技能】 関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフをかくことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 積分の考えを用いて、グラフで囲まれた図形の面積を求める方法を考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1 節 微分の考え 2 節 積分の考え ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 導関数を用いて、関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 積分の考えを用いてグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	32
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

高等学校 令和7年度 教科 数学 科目 数学B

教科 数学 科目 数学B 単位数 2 単位

対象学年組 第2学年 6,7組

教科担当者 (岸川)

使用教科書 (新編 数学B (数研出版))

教科 数学 の目標

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解できるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。
- 【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を育てる。

科目 数学B の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな数列の一般項や和を求めるときに、等差数列や等比数列の一般項や和と関連づけて統合的に捉えることができるようにする。事象の変化を漸化式で表すことができるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察できるようにする。確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断することができるようにする。	問題解決に向けて粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1章 数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解させ、それらの一般項や和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見出し、その規則性を数学的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1節 数列 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 等差数列や等比数列の一般項と和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数列の規則性を正しく捉え、数学的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	1章 数列 【知識及び技能】 いろいろな数列の一般項や和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数列の和において、 Σ を用いて表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 2節 いろいろな数列 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 いろいろな数列の一般項や和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 いろいろな数列の和を、 Σ を用いて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	1章 数列 2章 統計的な推測 【知識及び技能】 漸化式で表された数列の一般項を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的帰納法を用いた証明について考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 3節 漸化式と数学的帰納法 1節 標本調査 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 漸化式で表された数列の一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数学的帰納法を用いた証明方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	2章 統計的な推測 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布の特徴を平均や標準偏差で考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 2節 確率分布 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 確率変数と確率分布について理解することができる。 【思考・判断・表現】 確率分布の特徴を、確率変数の平均や標準偏差を用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	2章 統計的な推測 【知識及び技能】 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 収集したデータを処理し、その母集団の特徴や傾向を推測し判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 3節 正規分布 4節 統計的な推測 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 収集したデータを処理し、その母集団の特徴や傾向を推測し判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度 教科

理科 科目 物理基礎

教科： 理科 科目： 物理基礎 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組
教科担当者： (1組：岩崎) (2,3,4,5,6,7組：上平)
使用教科書： (第一学習社)

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】 自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】 簡単な自然の現象に対して仮説を立てることができる。
【学びに向かう力、人間性等】 グループワークや実験において積極的に取り組むことができる。

科目 物理基礎		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計算ができる。 自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を知っている。 実験器具を安全に使用することができる。	問題について仮説を立てることができる。 問題について数式をつくることができる。	学習に向かう努力ができる。 実験やグループワーク等において協働的な行動をとることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 物理量の測定と扱い方、物体の運動 ・速さと時間、移動距離の関係の計算ができる。 ・身近な物理現象について考える。	指数、有効数字、物理量の計算 平均の速度、瞬間の速度、速度の合成、相対速度	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元 物体の運動、力と運動と法則 ・直線運動について理解させる。 ・物体が直線上の運動するときの加速度を計算できる。 ・等加速度直線運動についての計算ができる。	速度の合成、相対速度、加速度、等加速度直線運動の速さと距離	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 力と運動と法則 ・物体に働く力を作図できる。 ・運動の3法則を知る。 ・運動方程式をつくれる。	力の合成と分解、運動の法則、作用反作用の法則、摩擦力、運動方程式	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	単元 力と運動と法則 ・物体に働く力を見つける。 ・運動方程式をつくれる。	運動方程式	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	9
	単元 エネルギー ・仕事を知り、計算できる。 ・運動エネルギーを知る。 ・位置エネルギーを知る。 ・力学的エネルギーを知る。	仕事、仕事率、仕事の原理、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 エネルギー ・力学的エネルギー保存の法則を理解できる。 ・熱量の計算ができる。	力学的エネルギー保存の法則、比熱、熱容量、熱量、熱力学第一法則	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	9
	単元 波の性質、音波 ・波の性質を知る。 ・波の性質を知る。	波の分類、波の性質、音速、音の3要素、音の性質、固有振動数	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	6
	単元 電気 ・オームの法則を使える。 ・発電方法を知る。	電荷、電流、抵抗、オームの法則、合成抵抗、電力量、電流と地場、さまざまなエネルギー					
	定期考査			○	○		1
							合計 60

高等学校 令和7年度 教科			保健体育		科目 体育				
教科：	保健体育	科目：	体育	単位数：	3	単位			
対象学年組：第	2 学年	1 組～	7 組						
教科担当者：	園山・阿原								
使用教科書：	(大修館書店 ステップアップ高校スポーツ2024)								
教科	保健体育	の目標：							
【知識及び技能】		運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、体力の必要性について理解しようとする。							
【思考力、判断力、表現力等】		自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。							
【学びに向かう力、人間性等】		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、一人ひとりの違いを大切にしようとする意欲を育て、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。							
科目	体育	の目標：							
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】					
基礎体力を向上と基本的な運動技能の習得を目指し、運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身につけようとする。		運動を通して自分を知り、自己の課題にあった解決方法を見つけられることができる。 グループ活動を通して、自己の考えを他者に伝える力を養う。 これまでの活動を振り返り、改善策を考え実行することができる。		自ら進んで集団の中で役割を果たし、周りと協力してスポーツを楽しむ、仲間を大切にできる。					
単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知	思	態	配当 時数
A 男子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。		○短距離走 ・合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを短縮し、競走できるようにする。 ・スタートダッシュは地面を力強くキックして、徐々に状態を起こして加速できるようにする。 ・疾走後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ること。		【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保することができる。		○	○	○	6
B 男子 ソフトボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。		・身体軸を安定させてバットを振りぬくこと。 ・タイミングを合わせてボールを捉えること。 ・ねらった方向にボールを打ち返すこと。 ・スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ること。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を進んだり戻ったりすること。 ・捕球場所へ最短距離で移動すること。 ・味方からの送球を受けるために、走者の進む先の塁に動くこと。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備える動きをすること。		【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。		○	○	○	8
C 男子 水泳 (2単位・1単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保すること。		○クロール ・手は速くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらせ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強く蹴ること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スクーリング動作を伴ったストロークを行うこと。		【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保することができる。		○	○	○	9
D 男子 バレーボール (1単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。		・サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすいく高さ位置にボールを上げること。 ・ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。		【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。		○	○	○	8

1 学 期	A 女子 陸上競技（2単位） 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、互いに助け合い、健康・安全を確保すること。	○短距離走 - 合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを短縮し、競走できるようにする。 - スタートダッシュは地面を力強くキックして、徐々に状態を起こして加速できるようにする。 - 疾走後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムミカルな動きで走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	B 女子 バスケットボール（2単位） 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い、健康・安全を確保すること。	・防衛をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。				
	C 女子 水泳（2単位・1単位） 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、互いに助け合い、健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は速くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらせ、加速するようにかくこと。 ・流線形の姿勢を維持して、しなやかでリズムミカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スクーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	D 女子 卓球（1単位） 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い、健康・安全を確保すること。	○卓球 ・サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げること。 ・ネット付近でボールの侵入を防いり、打ち返したりすること。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。 ・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	E 男女体づくり運動（2単位） 【知識及び技能】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い、健康・安全を確保すること。	・運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。 ・調和のとれた体力の向上を図ったり、選択した運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めたりするために、効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。	【知識及び技能】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10

A 男子 水泳 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は速くの水をつかむように前方に伸ばすこと ・肘を曲げて腕全体で水をとらせ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかにリズムミカルなキックを打つこと。 ・全身的に1回の動作で大きく進むこと。 ・肩のローリング動作を使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全身的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スクアリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	8
B 男子 バスケットボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・防衛をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
C 男子 サッカー (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・防衛をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	8
D 男子 ダンス (1単位) 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ること。	【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	12

Ⅱ 学 期	A 女子 水泳 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は速くの水をつかむように前方に伸ばすこと ・肘を曲げて腕全体で水をたらし、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スクーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	B 女子 ソフトボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・身体を軸を安定させてバットを振りぬくこと。 ・タイミングを合わせてボールを捉えること。 ・ねらった方向にボールを打ち返すこと。 ・スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ること。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を進んだり戻ったりすること。 ・捕球場所へ最短距離で移 ・味方からの送球を受けるために、走者の進む先の塁に動くこと。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備える動きをすること。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	C 女子 バレーボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げること。 ・ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	D 女子 ダンス (1単位) 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ること。	【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	

3 学 期	A 男子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保すること。	○長距離 ・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ること。 ・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	B 男子 卓球 (1単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	○卓球 ・サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さで位置にボールを上げること。 ・ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。 ・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	A 女子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保すること。	○長距離 ・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ること。 ・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	B 女子 バドミントン (1単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・サーブでは、シャトルをねらった場所に打つこと。 ・シャトルを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さで位置にシャトルを上げること。 ・ネット付近でシャトルの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。 ・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	C 男女 体育理論 (2単位) 【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見すること。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。	【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	○	○	○	6
	合計						
	105						

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組
教科担当者： 保坂 悠紀
使用教科書：（ 高校生の音楽2 （教育芸術社 音Ⅱ702） ）
教科 芸術 音楽 の目標：

- 【知識及び技能】 創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊に関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解を深める。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 斉唱「校歌」「糸」「ホールニューワールド」 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に取り組む。	・発声練習 ・歌唱「校歌」 ・歌詞の内容と表現「校歌」 ・歌唱「糸」 ・歌詞の内容と表現「糸」 「ホールニューワールド」 ・英語の読み ・英語の意味 ・歌唱テスト「ホールニューワールド」	○			○	【知識・技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。 【思考・判断・表現】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	B 器楽「Stand by me」（ギター） 【知識及び技能】 ①音符と休符の意味を理解する。 ②器楽合奏するために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関りに興味をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・ギターの構造 ・ギターの基本的な奏法 ・ポジション表 ・G, Em, C, D7の練習 ・ストロークの練習 ・「Stand by me」練習 ・実技テスト		○	○	○	【知識・技能】 ①音符と休符、音楽用語・記号の意味を理解できている。 ②器楽合奏するために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関りに興味をもち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組んでいる。	○	○	○	10
	B ピアノ 【知識及び技能】 ①ピアノの奏法について理解する。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・ピアノの基本的な奏法 ・音階練習 ・指の練習 ・「喜びの歌」練習 ・「メヌエット」練習 ・実技テスト	○			○	【知識・技能】 ①ピアノの奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように表現するかについて。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20

2 学 期	A 鑑賞「ウエストサイドストーリー」 歌唱「Tonight」 【知識及び技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解する。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 ③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わう。 ②音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考える。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。 ④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ①「ウエスト サイド ストーリー」に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心をもつ。 ②主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組む。	・ミュージカルの歴史 ・ミュージカルの特徴 ・ミュージカルの代表作 ・「ウエスト サイド ストーリー」の時代背景と社会問題 ・鑑賞「ウエストサイドストーリー」 ・歌唱「Tonight」 ・英語の読み ・英語の意味 ・発声練習 ・歌唱練習 ・音楽用語（表現・強弱等） ・歌唱テスト	○		○	【知識・技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解している。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 ③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わっている。 ②音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考えている。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 ④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①「ウエスト サイド ストーリー」に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心をもっている。 ②主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	A ミュージックベル 【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解することができる。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組む。 ②アンサンブルの演奏をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組む。	・ミュージックベルの基本的な奏法 ・英語音名、イタリア語音名 ・グループ決め、担当決め ・ミュージックベル用楽譜作り ・グループ練習 ・グループ発表・鑑賞	○		○	【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組もうとしている。 ②アンサンブルの演奏をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B 合唱 【知識及び技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 ②どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもつ。	・発声練習 ・参考音源鑑賞 ・各パート音取り ・パート練習 ・合唱 ・歌詞の意味 ・表現の工夫	○			【知識・技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ①音色・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えている。 ②どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもっている。	○	○	○	10

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教 科： 藝術

科 目： 美術Ⅱ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（１・２組：武藤）（３・４組：武藤）（５組：武藤）（６・７組：武藤）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ 高校生美術 2 日本文教出版 ）

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】美術の基礎的な知識・技術を学び、作品の制作に生かすとともに、芸術文化への理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】課題についての考えを深めてテーマや素材を選び、美的且つ効果的に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く課題に取り組むことができる。

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1 年次に学んだデッサンの見方と技術を基礎として、細密デッサンの技法を学ぶ。糸鋸を自在かつ安全に使用する。美術作品の調査方法とレポートの書き方、プレゼンテーション能力の向上を目指す。	与えられた課題に対して、学んだ知識と技術を基に、考えを深め、美的且つ効果的に工夫して表現することができる。美術史上の作品を調査し、作品を通じて考えたことと感じたことをレポートと発表で表現できるようにする。	主体的に授業に取り組む、美術の授業を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く課題に取り組むことができる。

[illegible]

高等学校 令和 6 7

書道 科目 書道Ⅱ

教 科： 書道 科 目： 書道Ⅱ 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組
教科担当者：（ 1組：青山 （ 2組：青山 （ 3組：青山 ）（ 4組：青山 （ 6組：青山 （ 7組：青山
使用教科書：（ 光村図書 書Ⅱ ）
教科 書道 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに理解を深めること。
【思考力、判断力、表現力等】作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を深く捉えたりすることが出来るようにすること。
【学びに向かう力、人間性等】書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに理解を深めているかいるかどうか。		作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を深く捉えたりすることが出来るようにしているかどうか。		書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢仮	漢	仮						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 篆書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 篆書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	篆書について					【知識及び技能】 篆書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 篆書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 隷書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 隷書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 隷書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	隷書について					【知識及び技能】 隷書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 隷書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 隷書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	○	○	○	5
2 学 期	c 単元 【知識及び技能】 仮名の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	仮名について					【知識及び技能】 仮名の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	○	○	○	10
3 学 期	D 単元 【知識及び技能】 創作の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 創作の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 創作の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	創作について					【知識及び技能】 創作の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 創作の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 創作の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	○	○	○	5
								○	○	○	合計 25

年間授業計画

高等学校 令和7年度 教科

外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語（英語） 科目： 英語コミュニケーションⅡ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1, 2, 3, 7組：及川）（4, 5, 6組：岸部）（L4, 5組：及川）

（L1, 2, 7組：岸部）（L3, 6組：米澤）L1, 2, 3, 4, 5, 6, 7組：齋藤

使用教科書：（Power On English Communication Ⅱ

）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】外国語の技能（四技能）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。	多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で話して伝えることができる。	日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉え、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で話して伝えようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
1 学 期	Lesson 1 Play me, I' m Yours 【知識・技能】助動詞・動詞の原形、受け身、S+V [be 動詞以外]+Cを用いた文の形・意味・用法を理解する。 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える。 【主体的】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 【題材内容】ストリートピアノについてのテレビレポート 【言語材料】助動詞・動詞の原形、受け身、S+V [be 動詞以外]+C 【言語の働き】説明する、報告する、紹介する、発表する ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞・動詞の原形、受け身、S+V [be 動詞以外]+Cを用いた文の形・意味・用法を理解している。 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。 【主体的】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	Lesson 2 Ethical Fashion 【知識・技能】S+V+O+C [形容詞]、S+V [使役]+O+C [原形不定詞]、S+V [知覚]+O+C [現在分詞、原形不定詞]を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える。 【主体的】ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 【題材内容】現代のファッション業界についてのニュース記事。ファストファッションの問題点やエシカルファッションについて考える。 【言語材料】S+V+O+C [形容詞]、S+V [使役]+O+C [原形不定詞]、S+V [知覚]+O+C [現在分詞、原形不定詞] 【言語の働き】説明する、理由を述べる、紹介する、発表する ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識・技能】S+V+O+C [形容詞]、S+V [使役]+O+C [原形不定詞]、S+V [知覚]+O+C [現在分詞、原形不定詞]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。 【主体的】ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査							○	○	○	1
	Lesson 3 One for All, All for One 【知識・技能】現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える。 【主体的】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 【題材内容】ラグビー選手のリーチ・マイケル選手へのインタビュー 【言語材料】現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節 【言語の働き】質問する、説明する、紹介する、感謝する ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。 【主体的】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	Lesson 4 Vending Machines 【知識・技能】関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解する。 日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える。 【主体的】日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 【題材内容】日本の自動販売機、海外の自動販売機についてのオンライン記事 【言語材料】関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格） 【言語の働き】説明する、紹介する、意見を述べる、発表する、質問する ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識・技能】関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。 【主体的】日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査							○	○	○	1

2 学 期	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille News [知識・技能] 助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について, また, ブレイルノイエの利点と活用方法について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 [思考・判断・表現] ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について, また, ブレイルノイエの利点と活用方法について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 [主体的] ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について, また, ブレイルノイエの利点と活用方法について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 [題材内容] ユニバーサルデザインのフォント、ブレイルノイエとその開発者の高橋鴻介氏へのインタビューについての雑誌記事 [言語材料] 助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節 [言語の働き] 質問する, 説明する, 例示する, 提案する, 発表する ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	[知識・技能] 助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について, また, ブレイルノイエの利点と活用方法について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 [思考・判断・表現] ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について, また, ブレイルノイエの利点と活用方法について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	Lesson 6 New Banknotes [知識・技能] It+is [was] +said+that 節, 形式目的語it+that 節, 形式目的語it+to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 新紙幣とキャッシュレス社会について, また, キャッシュレス社会の長所・短所について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 [思考・判断・表現] 新紙幣とキャッシュレス社会について, また, キャッシュレス社会の長所・短所について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 [主体的] 新紙幣とキャッシュレス社会について, また, キャッシュレス社会の長所・短所について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 [題材内容] 2024年に新しく発行される紙幣にまつわる話やキャッシュレス化についてのオンライン記事 [言語材料] It+is [was] +said+that 節, 形式目的語it+that 節, 形式目的語it+to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞 [言語の働き] 説明する, 意見を述べる, 賛成する, 反対する, 理由を述べる, 発表する, 質問する ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	[知識・技能] It+is [was] +said+that 節, 形式目的語it+that 節, 形式目的語it+to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 新紙幣とキャッシュレス社会について, また, キャッシュレス社会の長所・短所について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 [思考・判断・表現] 新紙幣とキャッシュレス社会について, また, キャッシュレス社会の長所・短所について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査								○	○	○	1
	Lesson 7 Some Secrets about Colors [知識・技能] 関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解する。 色の心理的効果について, また, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 [思考・判断・表現] 色の心理的効果について, また, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 [主体的] 色の心理的効果について, また, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 [題材内容] 色が私たちに与える影響や色のもつ心理的効果についての論説文 [言語材料] 関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞whereの非制限用法 [言語の働き] 説明する, 提案する, 理由を述べる, 意見を述べる, 質問する ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	[知識・技能] 関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。 色の心理的効果について, また, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 [思考・判断・表現] 色の心理的効果について, また, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem [知識・技能] 強調構文, 強調の助動詞do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや, 発展途上国への影響について, また, 納豆パウダーという製品の利点などについて, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 [思考・判断・表現] 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや, 発展途上国への影響について, また, 納豆パウダーという製品の利点などについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 [主体的] 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや, 発展途上国への影響について, また, 納豆パウダーという製品の利点などについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 [題材内容] 小田兼利博士が開発した納豆パウダーの誕生秘話と世界へ広がる様子についての論説文 [言語材料] 強調構文, 強調の助動詞do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞 [言語の働き] 説明する, 紹介する, 描写する, 注意をひく, 勧める ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	[知識・技能] 強調構文, 強調の助動詞do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや, 発展途上国への影響について, また, 納豆パウダーという製品の利点などについて, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 [思考・判断・表現] 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや, 発展途上国への影響について, また, 納豆パウダーという製品の利点などについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査								○	○	○	1

3 学 期	Lesson 9 Flying after Her Dreams 〔知識・技能〕 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解する。 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 〔思考・判断・表現〕 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 〔主體的〕 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 〔題材内容〕 アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシー・コールマンの伝記 〔言語材料〕 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞) 〔言語の働き〕 質問する, 説明する, 理由を述べる ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	〔知識・技能〕 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 〔主體的〕 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots 〔知識・技能〕 過去完了進行形, be+to不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V〔動詞の原形〕を用いた文の形・意味・用法を理解する。 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、また、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 〔思考・判断・表現〕 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、また、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 〔主體的〕 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、また、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 〔題材内容〕 日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文 〔言語材料〕 過去完了進行形, be+to不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V〔動詞の原形〕 〔言語の働き〕 説明する, 発表する, 提案する, 予想する, 意見を述べる, 理由を述べる ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	〔知識・技能〕 過去完了進行形, be+to不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V〔動詞の原形〕を用いた文の形・意味・用法を理解している。 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、また、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、また、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えていく。 〔主體的〕 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、また、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査								○	○	○	1

年間授業計画

高等学校 令和7年度 教科		外国語（英語）	科目	論理・表現Ⅰ
教科：	外国語（英語）	科目：	論理・表現Ⅰ	
対象学年組：第	2 学年	1 組～	7 組	
教科担当者：	(1,2組：斎藤)	(4,5組：清水)	(6組：及川)	(3,7組：岸部)
使用教科書：	(Vision Quest English Logic and Expression I Standard)			
教科	外国語（英語）	の目標：		
【知識及び技能】		外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。		
【思考力、判断力、表現力等】		場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。		
【学びに向かう力、人間性等】		外国語で聞いたことや読み取ったことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。		
科目	論理・表現Ⅰ	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。 聞いたことや読み取ったことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたことや読み取ったことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 (「や」)	話 (「発」)	書					
1 学 期	Lesson 1 I want to introduce my new friend. 【知識・技能】様々な疑問文や命令文、感嘆文の意味や用法、相手の発話に応答する表現を理解する。 単文・重文・複文の構造や意味や用法、理由を述べる表現を理解する。 日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】クラスメートに日々の習慣や出来事を説明するために、日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う。 【主体的】クラスメートに日々の習慣や出来事を説明するために、日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合うとする。	・指導事項 話題 紹介：初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 文法 文の種類：様々な疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答する。また、単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文で表現する。 機能 応答する／理由を述べる；相手の発話に適切な応答をする。また、多様な表現を用い理由を述べる。 表現 話すこと・自分やパートナーのクラブ活動を紹介する。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT ・一人1台端末の活用 等 Kahoot!, すちらを活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】様々な疑問文や命令文、感嘆文の意味や用法、相手の発話に応答する表現を理解している。 単文・重文・複文の構造や意味や用法、理由を述べる表現を理解している。 日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】クラスメートに日々の習慣や出来事を説明するために、日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合っている。 【主体的】クラスメートに日々の習慣や出来事を説明するために、日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合おうとしている。	○	○	○	5
定期考査	Lesson 2 Do you want to join our show? 【知識・技能】文型と動詞の意味や用法、賛成・反対する表現を理解する。 複雑な文型や動詞の意味や用法、聞き直す表現を理解する。 学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】クラスメートと情報を交換するために、自分の学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う。 【主体的】クラスメートと情報を交換するために、自分の学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合うとする。	・指導事項 話題 学校生活：学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。 文法 文型と動詞：5つの文型とThere +be動詞+主語の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分ける。 機能 賛成・反対する／聞き直す；賛成、反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりする。 表現 話すこと・文化祭に行く予定について話し合う。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT ・一人1台端末の活用 等 Kahoot!, すちらを活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】文型と動詞の意味や用法、賛成・反対する表現を理解している。 複雑な文型や動詞の意味や用法、聞き直す表現を理解している。 学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】クラスメートと情報を交換するために、自分の学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合っている。 【主体的】クラスメートと情報を交換するために、自分の学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合おうとしている。	○	○	○	5
定期考査	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend. 【知識・技能】現在のことや過去のことを表す時制の意味や用法、助動詞を助ます表現を理解する。 現在のことや過去のことを表す時制の意味や用法を理解する。 自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】クラスメートと現在の習慣や状況、過去の出来事の情報や詳細を交換するために、自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合うとする。	・指導事項 話題 旅行・観光：旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。 文法 時制：基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝える。 機能 激励する／助ます／計画する。予定する；会話の相手を激励したり、助まったりする。また、計画したり、予定していることを伝える。 表現 話すこと・過去に行った旅行の経験について話す。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT ・一人1台端末の活用 等 Kahoot!, すちらを活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在のことや過去のことを表す時制の意味や用法、助動詞を助ます表現を理解している。 現在のことや過去のことを表す時制の意味や用法を理解している。 自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】クラスメートと現在の習慣や状況、過去の出来事の情報や詳細を交換するために、自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合っている。 【主体的】クラスメートと現在の習慣や状況、過去の出来事の情報や詳細を交換するために、自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。	○	○	○	5
定期考査	Lesson 4 Have you ever tried it before? 【知識・技能】現在完了形や現在完了進行形の意味や用法、経験を尋ねる表現を理解する。 現在完了形や現在完了進行形の意味や用法を理解する。 英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】パートナーに経験したことや完了したこと、継続していることを尋ねるために、英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合うとする。	・指導事項 話題 趣味・関心：趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、伝えたりする表現を学ぶ。 文法 完了形：現在、過去、未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別する。また、共に使える語句を使って、適切な文を作ったり、表現したりする。 機能 経験を尋ねる／初めての経験を述べる；今までの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりする。 表現 話すこと：スポーツや音楽の経験について伝え合う。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT ・一人1台端末の活用 等 Kahoot!, すちらを活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了形や現在完了進行形の意味や用法、経験を尋ねる表現を理解している。 現在完了形や現在完了進行形の意味や用法を理解している。 英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】パートナーに経験したことや完了したこと、継続していることを尋ねるために、英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合っている。 【主体的】パートナーに経験したことや完了したこと、継続していることを尋ねるために、英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	○	○		○	○	○	1

[illegible]

2 学期	●食生活のマネジメント	・指導事項 第8章 (1) 食事の役割 (2) 食生活を見直す (3) 栄養バランスのよい食事 (4) 炭水化物の働きと食品の調理性 (5) 脂質の働きと食品の調理性 (6) たんぱく質の働きと食品の調理性 (7) 無機質の働きと食品の調理性 (8) ビタミンの働きと食品の調理性 (9) 加工食品について (10) 食品の選択と購入 (11) 食品を安全に取り扱う ・教材 教科書、資料集、学習ノート、 パワーポイント (一人1台端末の活用)	【知識・技能】 ・栄養素の種類と働き，栄養素等摂取の基準や食品群別摂取量の目安を理解している。(定期考査・実習) 【思考・判断・表現】 ・家族や自分の食生活について，栄養や健康と関わらせて考えようとしている。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・配膳や食事のマナーについて理解し，工夫することができる。(ワークシート・実習)	○	○	○	12
	●衣生活のマネジメント	・指導事項 第10章 (1) 衣生活の現状と課題 (2) 被服の機能と快適性 (3) 被服材料と性能 (4) 被服と安全・衛生 (5) 被服の管理 (6) 資源としての被服 ・教材 教科書、資料集、学習ノート、 パワーポイント (一人1台端末の活用)	【知識・技能】 ・用途や着用目的に合った被服材料の選択や被服材料に応じた洗濯、仕上げ、保管等ができる。(定期考査・実習) 【思考・判断・表現】 ・被服材料に応じた洗濯や適切な衣生活の管理について考えることができる。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服構成や縫製技術の特徴に関心を持ち、被服製作に取り組んでみる。(ワークシート・実習)	○	○	○	12
3 学期	●経済生活のマネジメント	・指導事項 第8章 (1) 生活を営むためのお金 (2) 経済のしくみを知ろう (3) お金と上手につきあう術 (4) 18歳で変わる消費生活 (5) 進むキャッシュレス社会 (6) 「お金を借りる」ということ (7) 消費者トラブルの今 (8) 消費者の自立を支援する (9) 情報社会を生きる (10) 私たちが社会を動かす ・教材 教科書、資料集、学習ノート、 パワーポイント (一人1台端末の活用)	【知識・技能】 ・リスク管理も踏まえた家計管理について理解することができる。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・各ライフステージの特徴と課題等と関連付けながら障害の賃金や働き方について考えることができる。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自立した消費者として、環境や社会への影響を意識した責任ある消費行動を意識して取り組んでいる。(ワークシート・発表)	○	○	○	10
	●安全で快適な住生活をつくらう	・指導事項 第9章 (1) なぜ住まうのか (2) 住生活の成り立ちと住文化 (3) ライフスタイルと住まいの関係 ・教材 教科書、資料集、学習ノート、 パワーポイント (一人1台端末の活用)	【知識・技能】 ・生活行為と住空間とのかかわり，動作に必要な広さ，家具の配置や動線などについて理解している。(定期考査・間取り作成) 【思考・判断・表現】 ・住生活の文化に関心をもち，住まいの機能，人間と住まいとのかかわりについて考えようとしている。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族構成，ライフステージ，生活にかかわる価値観などに応じた住空間の計画について検討しようとしている。(ワークシート・間取り作成・発表)	○	○	○	8
学年							合計 70

総合的な探究の時間

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、社会貢献に関する道徳的価値について、理解を深める。	各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、社会貢献に関する道徳的価値を深め、主体的に人生を選択し、自己表現する力を養う。	各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、問題解決や探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組み、探求しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・各自テーマ設定を行い、探究課題について内容を精査する。 ・探究課題について確定させ、それをどう調査していくのか仮説と検証計画を立てる。 ・中間報告会による報告を行う。	・オリエンテーションにより、年間授業計画の確認と、目標の確認を行う。 ・各自テーマ設定を行い、14の研究グループに分かれ、同じグループのメンバーとの協働を通じて見出した各自の課題について、その解決方法を考える。（課題設定と情報収集）	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動したかという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった教員の評価を集約し、総合的に評価をする。	○	○	○	12
2 学 期	・探究課題について、調査し、仮説検証を行う。 ・調査内容を整理・分析し、考察する。 ・中間報告会による報告を行う。	・夏季休業を活用し、課題解決のための情報収集等を行う。（情報収集） ・調べた内容を整理・分析し、考察していく。（整理・分析）	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動したかという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった教員の評価を集約し、総合的に評価をする	○	○	○	13
3 学 期	・成果発表会に向け、各自の探究テーマについて、レポートを完成させる。 ・自分は社会のために何をすべきか、アクションプランを考える。 ・成果発表会により、1年間の学習成果を発表する。	・各自の探究テーマについて、レポートを完成させる。（まとめ） ・自分は社会のために何をすべきか、アクションプランを考える。（まとめ） ・1年間の学習成果を発表する。	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動したかという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった教員の評価を集約し、総合的に評価をする	○	○	○	10
							合計 35